

ほけんだより

心もからだも元気いっぱい

令和 5年 2月 24日
第20号 神石小学校

インフルエンザの流行について

広島県では「インフルエンザ注意報」が発令中ですが、町内の学校においても、また本校においても「インフルエンザ」に罹患する児童がみられるようになりました。

前回のほけんだよりでもお知らせしましたが、お子さんに「発熱等の風邪症状」や「いつもと違う様子」がみられる場合は、早めにかかりつけ医等にご相談され、受診してください。

「インフルエンザ」の症状は一般的には「高熱」と言いますが、鼻水やせきなどの呼吸器症状はあるが、あまり高熱が出ない場合もあるようです。

これまで、ご家庭におかれまして、家族ぐるみで「インフルエンザ」や「コロナウイルス」などの感染症に対し、感染対策をとられていることと思いますが、引き続き、お子さんの健康管理についてご配慮いただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

◆ていねいな手洗い

「インフルエンザ」の主な感染経路は、ウイルスの付着した手や指を介して、口や鼻から体内に入ることによるものです。最も効果的な予防方法は手洗いです。

◆咳エチケット

ニュース等でご存知の通り、「マスク着用」については緩和される見通しがありますが、感染症対策では、咳エチケットが必要です。

咳やくしゃみが出るときには、マスクやティッシュ・ハンカチ上着の内側や袖などを使って、口や鼻を覆いましょう。



マスクについては、必ず予備のマスクを持たせてください。今後、「新型コロナウイルス感染症」については、感染症法上の分類が変わってくる見通しですが、しばらくは現状維持で、ご協力をよろしくお願いいたします。

◆適度な湿度(換気)

感染症対策では、「換気が一番」です。窓を開けたり加湿器などを使ったりして、湿度を50～60%に保ちましょう。先日の学校保健委員会でも、校医の先生よりご指導いただきました。換気は1時間に1回ではなく、窓を少し開けて、常時換気をおこなってください。

おねがい

「インフルエンザ」は「新型コロナウイルス感染症」と違って、「濃厚接触者」扱いの登校控えはありません。しかし、お子さんの様子をしっかりと見ていただき、いつもと違う様子がありましたら、学校までご連絡ください。学校でも、引き続き、健康管理の徹底に努めてまいります。

何かお困りのことがございましたら、遠慮なく、学校までご連絡ください。